

# 花と緑のサポーター @百合が原公園



園内の「シュラブローズ」

花と緑のオアシスとして、区民に親しまれている百合が原公園。この植物の手入れに、ボランティアが活躍していることをご存じですか。  
今月は、百合が原公園にとって、今やなくてはならない「サポーター」の皆さんの活動を紹介します。

## ローズヒップ

百合が原公園は、さまざまなかたを觀賞できることでも知られています。「バラが好きです」と通っていたのですが、四年くらい前に花がらが地面に落ちていたのを見かねて、花がら摘みの手伝いをさせてもらえないかとお願いしたんです」と発足時からメンバー、三上弘子<sup>みかほこ</sup>さん。やがて講習会などを通じて、園内のバラの世話をしたいという人が増え「ローズヒップ」の活動は広がっていきました。現在は、十五人のメンバーが花がら摘みのほか、除草や挿し木、名札の取り付けなど、さまざまなお仕事をしています。

バラの庭園というと、派手な印象を抱いてしまいがちですが、三上さんは「このバラは、緑の中



枝の剪定作業をする三上さん（中央）

に自然な感じで植えられていて、雰囲気はまるで外国にいるのではないかと錯覚してしまうほどです。そのすてきな空間を、訪れる人々に心行くまで満喫していただきたいという願いが活動の原点ですね」と話します。

そして笑顔でこう付け加えてくれました。「バラの香りが素晴らしいのは、早朝なんですよ。その中を歩いていると、幸せな気持ちになれます。ぜひ皆さんにもお勧めしたいですね」